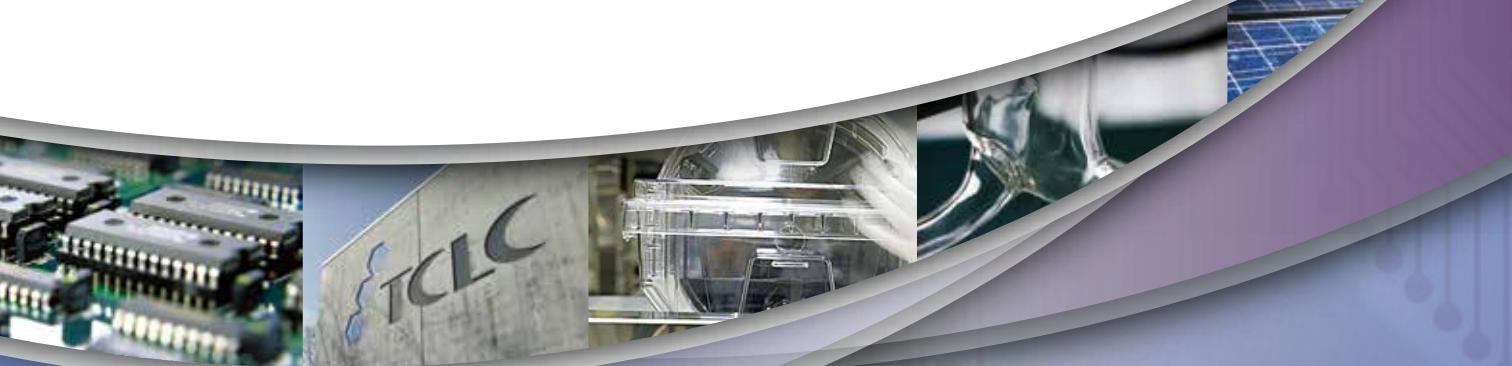


平成26年2月1日～平成27年1月31日

# 第37期報告書

トリケミカルレポート





代表取締役社長  
た 附 聖

## 当社は科学技術の創造を通じて 最先端テクノロジーの発展に貢献し、 人々の『ゆとり創造』実現に寄与いたします

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、高純度の“ウルトラファインケミカル”サプライヤーとして、最先端テクノロジーの発展に貢献すべく、半導体・太陽電池・光ファイバー等向け化学材料の研究開発・製造・販売を行っています。2015年1月期につきましては、創業以来最高の売上高を達成し、大幅な増益となりました。

当社は、今後も引き続き、持続的な成長を目指すとともに、さらなる企業価値の最大化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### Q1 2015年1月期(当期)の業績は いかがでしたか？

半導体向け材料の好調な売上により、創業以来最高の売上高となりました。

当期における日本経済は、消費税増税の影響による個人消費の伸び悩みがありましたが、円安株高を背景に輸出関連企業を中心として企業収益の改善も見られ、緩やかな回復基調にありました。当社の主要な販売先である半導体業界においては、PC・デジタル家電向け需要は引き続き低迷しましたが、スマートフォン等向けの需要が好調に推移しました。また、太陽電池業界では業界再編の動きなどもあり、新規設備投資は慎重な傾向にありました。このような状況下で、当社は製造・販売・開発を中心に全社員一丸となって企業体質の強化を図るとともに、既存顧客に加え海外を中心とした新規顧客獲得に取り組んでまいりました。一方、利

益面に関しては、全社を挙げて経費削減に取り組むとともに、製造工程の見直しを中心に生産の効率化や合理化施策等を進め、収益の向上を図りました。

その結果、売上高は41億3百万円(前年同期比22.1%増)、営業利益は3億51百万円(同644.2%増)、経常利益は4億26百万円(同703.7%増)、当期純利益は3億60百万円(同434.1%増)となりました。

### Q2 当期の製品用途別および地域別の 事業環境はいかがでしたか？

台湾市場での販売増もあり、引き続き半導体向け材料の売上が増加しました。

半導体向け材料は、スマートフォン、タブレット市場の拡大とともに売上が大きく伸びました。スマートフォン、タブレット等に使用されるカスタムDRAMやフラッシュメモリーなどのSi半導体向け材料の中でも、High-k材料やMetal CVD材料といった最先端の半導体に使

## ●財務ハイライト Financial Highlights



\*2013年1月期より連結子会社がなくなったため、当社単独の決算を掲載しています。

用される材料の売上高が増加しました。当期は、新しい材料に切り替わる時期でもあり、付加価値の高い新材料の売上が大きく伸長したため、利益をあげることができました。太陽電池向け材料は、国内では業界再編の影響もあり需要が少ない状況でしたが、中国では太陽電池の生産が比較的活発で売上も拡大しました。光ファイバー向け材料は、日本国内ではメーカーの一時的な生産調整の影響を受けました。

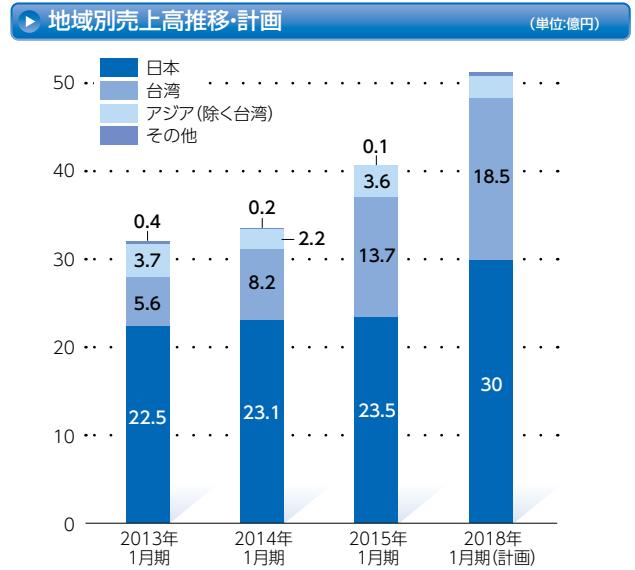
海外は、台湾市場における半導体出荷が大きく伸びるとともに、付加価値の高い新規の半導体向け材料へのシフトがあったため、売上高、利益とも大きく増加しました。中国は、太陽電池向け材料の需要増等により売上高が拡大しました。



**Q3 2016年1月期(今期)の市場動向と業績見通しについてお話しください。**  
**半導体向け新規材料の売上増により、今期も増収増益となる見込みです。**

今期も当期に引き続き、スマートフォン等の出荷増により、各半導体メーカーの工場は高い稼働率を維持すると思われ、半導体向け材料の需要は引き続き堅調に推移する見込みです。また、太陽電池、光ファイバー向け材料も大きな変動はないと思われ。

このような外部環境の中、当社は、引き続き半導体向け新規材料の販売拡大に向け邁進していきます。今期の新規材料の売上高は、当期以上になると思われ。また、半導体向け材料は、引き続き台湾を中心とした積極的な海外展開を図ってまいります。韓国におい



ては、駐在員事務所をさらに活用しながら販売体制を強化していきます。

以上の見通しと取り組みにより、今期の業績も増収増益を見込んでいます。ただし、当期純利益につきましては、当期に計上した保険差益という特殊要因がなくなるため減少となる見込みです。

**Q4 今後の事業戦略についてお聞かせください。**  
**さらなる事業の拡大に向けて、新中期経営計画を着実に実行してまいります。**

当社は、当期において前中期経営計画の最終年度業績をほぼ達成することができました。このため、さらなる経営基盤の強化と持続的な成長を図ることを目的に、今期を初年度とする新中期経営計画(2016年1月期~2018年1月期)を策定しました。

新中期経営計画では、重点戦略として製品戦略と地域戦略を掲げています。製品戦略としては、拡大する半導体需要に対応して新規材料の拡販に注力することで、2018年1月期には半導体向け材料の売上高を約44億円にまで伸ばしてまいります。地域戦略としては、主力の国内、台湾市場を中心に販売をさらに拡大させ、韓国については、販売体制の強化により2017年1月期からの売上増加を見込んでいます。

以上の重点戦略を遂行していくために、今期以降、半導体向け新規材料の量産や今後の新規材料開発に向けた設備投資を行うとともに、製品の内製化、製造工程の自動化などによる効率化を図ってまいります。そして、お客様のニーズを掴んでいくためのマーケティン

グ体制も強化していきます。さらに、これらを担う人材を確保して教育に力を入れていくことで、中長期の成長に向けた強靱な企業体質を形成してまいります。

**Q5 最後に株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いいたします。**  
**売上、利益の増加に向けて企業体質の改善を図り、利益還元に努めてまいります。**

当期の期末配当については、好調な業績と財務状況等を勘案し、前期に比べ5円増配の1株当たり7円とさせていただきます。今期末の配当は、予想業績に応じて1株当たり6円を予定しています。

引き続き、なお一層株主の皆様のご期待に沿えるよう、全社一丸となって収益成長を目指し利益還元に努めてまいります。今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



● 貸借対照表 (単位:千円)

|              | 第37期<br>平成27年1月31日現在 | 第36期<br>平成26年1月31日現在 |
|--------------|----------------------|----------------------|
| <b>資産の部</b>  |                      |                      |
| 流動資産         | 3,357,349            | 2,405,123            |
| 固定資産         | 1,887,669            | 1,787,919            |
| 有形固定資産       | 1,809,870            | 1,712,174            |
| 無形固定資産       | 5,283                | 5,489                |
| 投資その他の資産     | 72,514               | 70,255               |
| 資産合計         | 5,245,019            | 4,193,043            |
| <b>負債の部</b>  |                      |                      |
| 流動負債         | 1,745,020            | 1,325,780            |
| 固定負債         | 588,734              | 370,301              |
| 負債合計         | 2,333,754            | 1,696,082            |
| <b>純資産の部</b> |                      |                      |
| 株主資本         | 2,906,822            | 2,492,249            |
| 資本金          | 783,872              | 749,682              |
| 資本剰余金        | 684,872              | 650,682              |
| 利益剰余金        | 1,438,095            | 1,091,902            |
| 自己株式         | △18                  | △18                  |
| 評価・換算差額等     | 4,441                | 4,711                |
| その他有価証券評価差額金 | 4,441                | 4,711                |
| 純資産合計        | 2,911,264            | 2,496,960            |
| 負債純資産合計      | 5,245,019            | 4,193,043            |

● 損益計算書 (単位:千円)

|            | 第37期<br>自 平成26年2月 1日<br>至 平成27年1月31日 | 第36期<br>自 平成25年2月 1日<br>至 平成26年1月31日 |
|------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高        | 4,103,274                            | 3,361,609                            |
| 売上原価       | 2,670,975                            | 2,368,291                            |
| 売上総利益      | 1,432,298                            | 993,317                              |
| 販売費及び一般管理費 | 1,081,152                            | 946,129                              |
| 営業利益       | 351,146                              | 47,187                               |
| 営業外収益      | 99,081                               | 20,994                               |
| 営業外費用      | 24,139                               | 15,169                               |
| 経常利益       | 426,089                              | 53,012                               |
| 特別利益       | 172,771                              | 44,039                               |
| 特別損失       | 21,887                               | —                                    |
| 税引前当期純利益   | 576,972                              | 97,052                               |
| 法人税等       | 216,301                              | 29,523                               |
| 当期純利益      | 360,671                              | 67,529                               |

● キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

|                     |          |          |
|---------------------|----------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 369,828  | △112,542 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △339,924 | △26,145  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | 358,263  | △139,492 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額    | 2,910    | 516      |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 391,078  | △277,663 |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 401,116  | 678,780  |
| 現金及び現金同等物の期末残高      | 792,195  | 401,116  |

● 株主資本等変動計算書 第37期(自 平成26年2月1日 至 平成27年1月31日) (単位:千円)

|                     | 株主資本    |         |       |           |                     |      | 評価・換算差額等  | 純資産合計 |           |
|---------------------|---------|---------|-------|-----------|---------------------|------|-----------|-------|-----------|
|                     | 資本金     | 資本剰余金   | 利益剰余金 |           |                     | 自己株式 |           |       | 株主資本合計    |
|                     |         |         | 資本準備金 | 利益準備金     | その他利益剰余金<br>繰越利益剰余金 |      |           |       |           |
| 当期首残高               | 749,682 | 650,682 | 5,194 | 1,086,708 | 1,091,902           | △18  | 2,492,249 | 4,711 | 2,496,960 |
| 当期変動額               |         |         |       |           |                     |      |           |       |           |
| 新株の発行               | 34,190  | 34,190  |       |           |                     |      | 68,380    |       | 68,380    |
| 剰余金の配当              |         |         |       | △14,478   | △14,478             |      | △14,478   |       | △14,478   |
| 当期純利益               |         |         |       | 360,671   | 360,671             |      | 360,671   |       | 360,671   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) |         |         |       |           |                     |      |           | △269  | △269      |
| 当期変動額合計             | 34,190  | 34,190  | —     | 346,192   | 346,192             | —    | 414,572   | △269  | 414,303   |
| 当期末残高               | 783,872 | 684,872 | 5,194 | 1,432,901 | 1,438,095           | △18  | 2,906,822 | 4,441 | 2,911,264 |

● 株式の状況 (平成27年1月31日現在)

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 27,240,000株 |
| 発行済株式総数  | 7,578,160株  |
| 株主総数     | 2,691名      |

● 会社概要 (平成27年1月31日現在)

|       |   |
|-------|---|
| 商号    | 株式会社トリケミカル研究所   |
| 設立    | 1978年12月  |
| 資本金   | 783,872,800円  |
| 従業員数  | 110名  |
| 本社所在地 | 〒409-0112 山梨県上野原市上野原8154-217                              |
| 事業内容  | 半導体用材料、光ファイバー用材料、太陽電池用材料、化合物半導体用材料、触媒、特殊試薬、その他の開発・製造および販売 |

● 役員 (平成27年4月24日現在)

|         |       |
|---------|-------|
| 代表取締役会長 | 齋藤 隆  |
| 代表取締役社長 | 太附 聖  |
| 常務取締役   | 菅原 久勝 |
| 常務取締役   | 砂越 豊  |
| 取締役     | 柴田 雅仁 |
| 取締役相談役  | 竹中 潤平 |
| 常勤監査役   | 木曾 幸一 |
| 監査役     | 梅澤 宣喜 |
| 監査役     | 萩原 道明 |
| 監査役     | 太田 周二 |

● トリケミカルグループ

本社・支店・営業所

株式会社トリケミカル研究所(本社)  
山梨県上野原市上野原8154-217  
TEL. 0554-63-6600(代表)  
FAX. 0554-63-6161

上野原第二工場  
山梨県上野原市上野原8154-16

関西営業所

大阪府吹田市南金田1-4-31 エッグワンビル303  
TEL. 06-6385-9877  
FAX. 06-6385-9950

台湾支店

台湾新竹縣竹北市光明六路東一段255号3F  
TEL. +886-3-6589080  
FAX. +886-3-6589081

韓国事務所

大韓民国京畿道城南市盆唐区亭子洞17-2

関連会社

株式会社エッチ・ビー・アール  
(日本エア・リキード株式会社との合併会社)

## 株主メモ

|                 |   |
|-----------------|---|
| 事業年度            | 2月1日から1月31日まで   |
| 定時株主総会          | 毎事業年度終了後3ヶ月以内   |
| 基準日             | 1月31日   |
| 株主名簿管理人         | 三菱UFJ信託銀行株式会社   |
| 特別口座の<br>口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社   |
| 同 連絡先           | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081<br>東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>電話 0120-232-711(通話料無料) |
| 公告の方法           | 電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。             |
| 1単元の株式数         | 100株  |
| 上場証券取引所         | 東京証券取引所JASDAQスタンダード   |
| 証券コード           | 4369  |



<http://www.trichemical.com/>

トリケミカル

検索

### ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理人となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



株式会社トリケミカル研究所

〒409-0112 山梨県上野原市上野原8154-217  
TEL 0554-63-6600(代表) FAX 0554-63-6161



この報告書は、エコマーク認定の古紙配合率70%の再生紙を使用し、アロマフリータイプ植物インキで印刷されています。